

優先度	
A	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性が高く、令和6年度に実施する事業・・・（採択）
A B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性は高いが、必要性や緊急度等を精査の結果、他の優先度Aの事業に比べると令和6年度に実施する必要性が低いと考えられる事業（令和7年度以降に実施）・・・（実施年度を先送りした採択）
B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性はあるが、令和6年度に実施する必要性が低いと考えられる事業・・・（次期実施計画で再検討）
C	事業の必要性が低い、若しくはないと考えられる事業・・・（不採択）

◆優先度別事業数及び査定事業費（第3回査定）◆

（一般会計）

優先度	事業数	第3回査定事業費			合計
		一般財源 【うち特別会計等への繰出金等】	地方債 (市債)	その他 (補助金等)	
A	191	14億9,412万円 【2億6,408万円】	27億5,910万円	11億6,686万円	54億2,008万円
A B	25	—	—	—	1億4,378万円
B	1	—	—	—	124万円
C	0	—	—	—	0円

※金額の端数は四捨五入

※A以外は要求事業費で計算

（特別会計等）

優先度	事業数	第3回査定事業費			合計
		一般財源 【うち一般会計からの繰入金等】	地方債 (市債)	その他 (受益者負担等)	
A	18	2億6,408万円 【2億6,408万円】	7億5,430万円	3億4,240万円	13億6,078万円
A B	3	—	—	—	5,382万円
B	0	—	—	—	0円
C	0	—	—	—	0円

※金額の端数は四捨五入

※A以外は要求事業費で計算